

# 再任のご挨拶

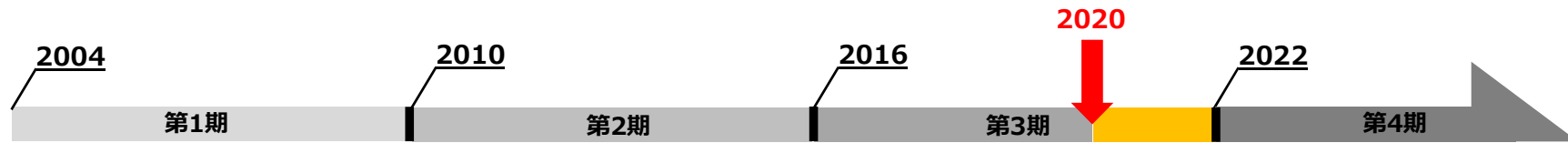
～第3期の成果まとめと

第4期以降のさらなる飛躍に向けた環境整備～



2020年4月

尾家 祐二



- 国立大学は2004年の法人化以降、6年ごとの中期目標・中期計画期間
- 2016年の第3期中期目標期間の開始と同時に学長に就任 ⇒ 再任により2022年まで
- 第3期を締めくくるとともに、2022年から始まる第4期へ繋ぐ**重要な2年間**

## 教育

## 現状の把握



## 目指すべき大学像

知の  
継承

教育

知の  
創造

研究

知の  
活用

社会貢献

そのためには、  
広く社会から理解、共感を得ることが不可欠

- さまざまな情報発信
- 多方面との対話
- 協働の機会の創出

実  
現

学びのため、知的創造を行うための開かれた大学  
すべての構成員が誇りを持って働ける大学

知を繋ぎ、知で繋ぎ続ける九州工業大学



## 学生募集活動

九州以外からの関心が高まり、**志願倍率も上昇**。AO入試は一昨年度から**大阪会場**での実施を開始し、今秋は**東京**でも実施予定。  
令和2年度入試では、センター試験最後の年ということで、他大学と同様本学でも志願倍率が下降。  
⇒ 18歳人口の減少の中ではあるが、引き続き**九工大を知ってもらい、九工大で学びたいという志願者を増やす努力**が必要

## 国際化

学生の**海外派遣**は430名(2015)から**700名超**(2020)と60%以上の伸び。2018年は国立大で3位の派遣率。留学生の受け入れも457名(2015)→630名(2018)と増加。  
研究についても、UPM、台湾科技大、UTP等との**組織的連携**を構築。**国際共著論文の割合**も24%(2015)→35%(2018)、論文数自体も100編以上の増加。

## 産学連携

産業界との共同研究費も、3.9億円(2015)から8.4億円(2019)と**4年で2倍近い増加**。  
**共同研究講座**(2016設置)の効果も大きく、現在までに11件の実績。  
教育に関しても、**産学連携教育審議会を毎年開催**→産学連携教育プログラムなどを実施。学生プロジェクトの取り組みも社会からご理解頂き、民間企業からのご支援も計4社に。

## 安心と誇りを持って働ける職場の実現

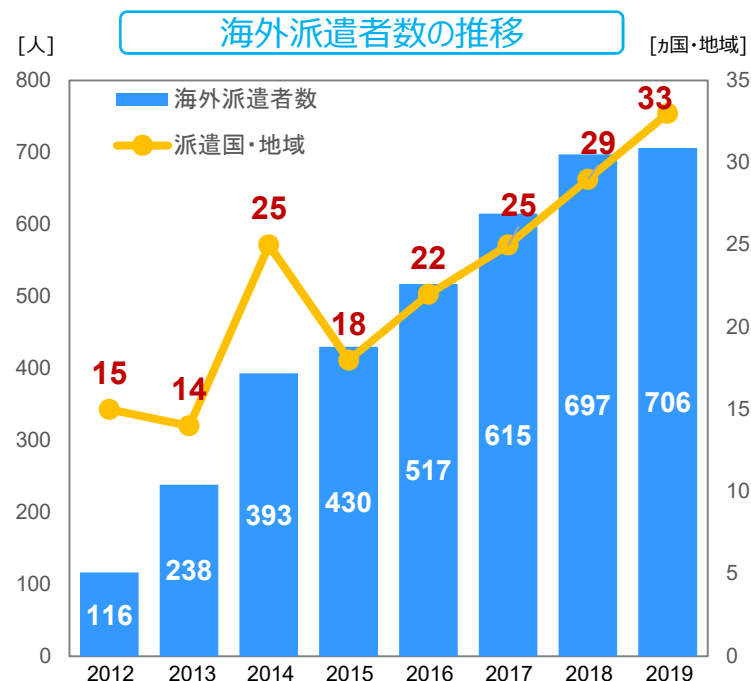
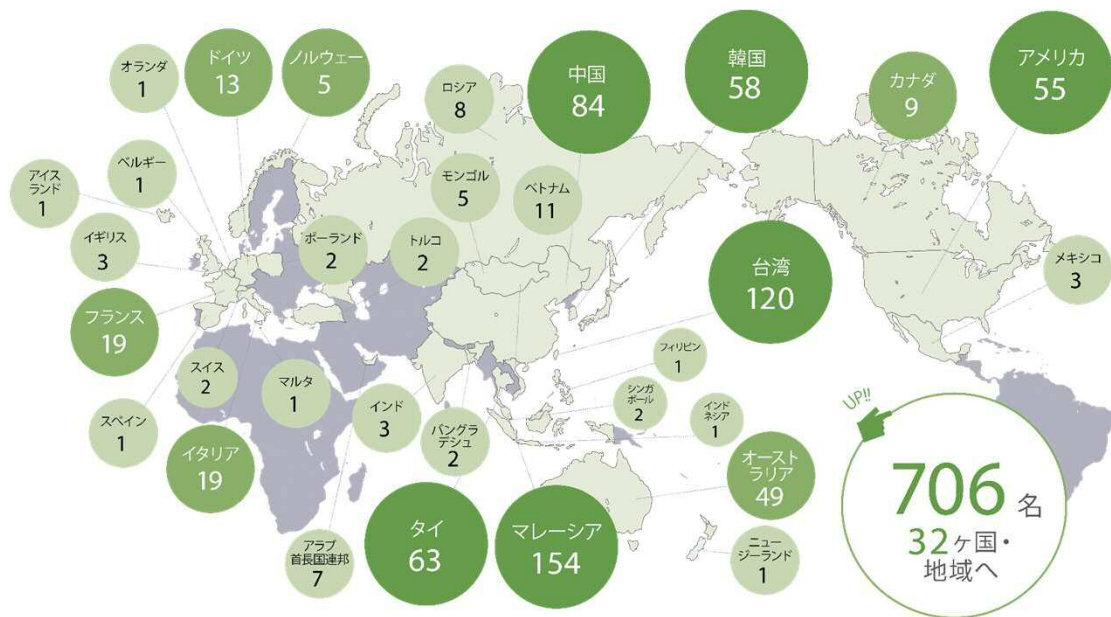
教育職員を対象に満足度調査を実施、若手教育職員との面談など現場の意見を踏まえた職場環境の改善に着手。  
事務職員では人事制度改革マラソンを始動させ、ジョブチャレンジなど部署横断的な業務体制を実現。技術職員についても昇任手続の整備を実施。

## 社会への情報発信

本学の活動への共感を得るため、定期的に学長記者懇談会を開催。百貨店、テレビ局など多様な業界との連携も構築し本学の活動を広く周知→情報発信力が強化。  
研究力をわかりやすく社会に伝えるため、特設ウェブサイト (Kyutech LAB) を構築。

**2020-2021年度の2年間は、これまでの活動を継続、強化するとともに  
第4期の特徴的な活動に繋げる基盤強化の期間**

## グローバル・コンピテンシー涵養のため多様な海外派遣を推進



「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」第7回フォローアップ調査より

◆2018年度日本人留学生の外国留学者比率（学部+大学院）**4位 九州工業大学**

**2019 新設！**

### 英語だけで修了できるコース

部局	コース名
工学府	宇宙工学国際コース
工学府	工学府物質工学専攻マテリアルコース
情報工学府	Innovative AI/Robotics Technologies Course
生命体工学研究科	AAR(Advanced Assistive Robotics)コース
生命体工学研究科	Global Green Energy and Electronics Course

### Global Green Energy and Electronics (G2E2) Course

留学生と日本人学生が共修する環境を提供し、現代社会が抱えている環境・エネルギー問題に着目したグリーンでクリーンな持続可能な社会を構築するための教育研究を行い、諸外国と連携したグローバルリーダーとなり得る人材教育を行います。環境やエネルギーの問題に関する先端的なグリーンエレクトロニクス分野の教育を行うことで、国境を越えた持続可能な目標（SDGs）に沿ってすべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを教育目的としています。

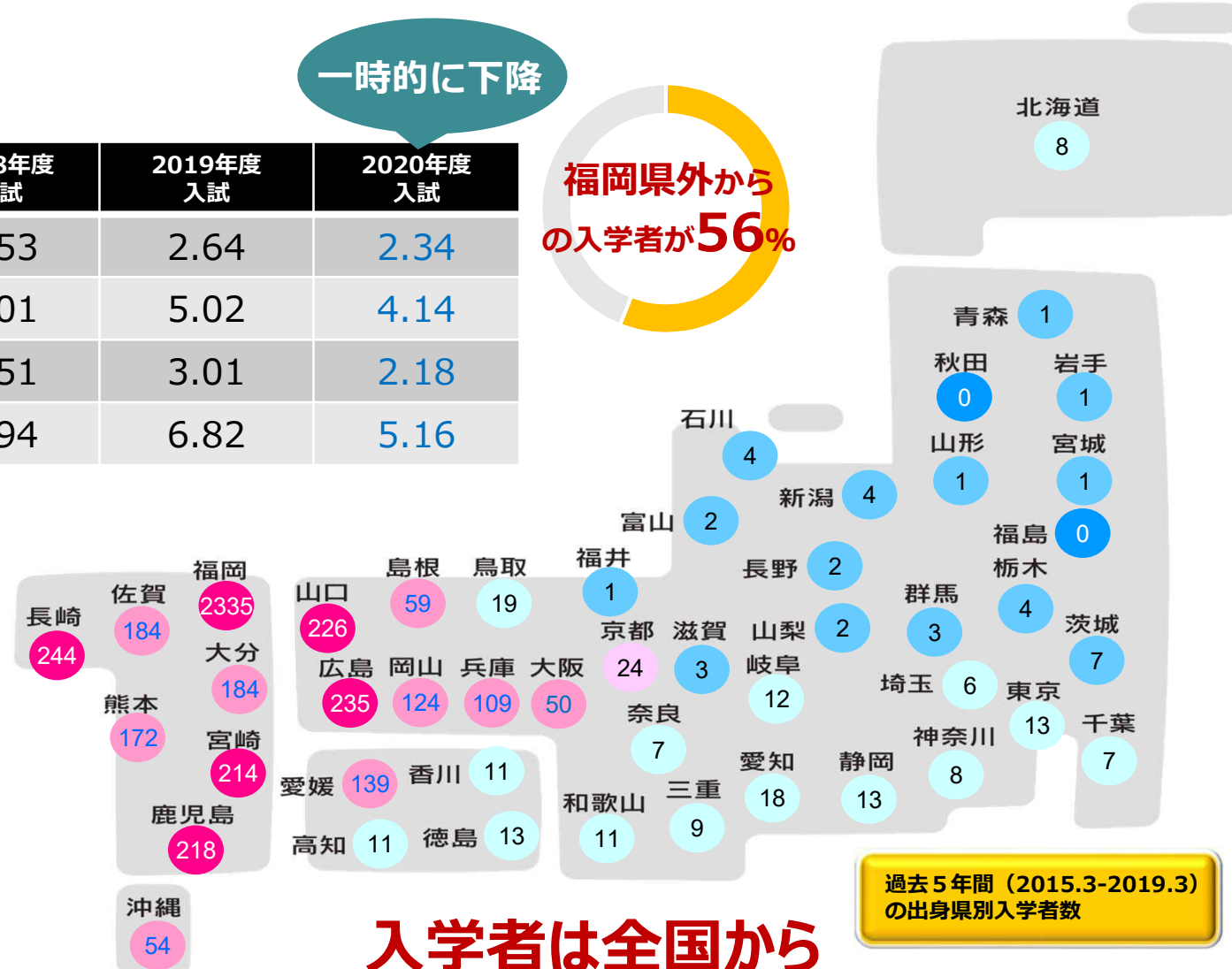
# 志願倍率・地域別入学者数

## 志願倍率

学部	入試区分	2018年度入試	2019年度入試	2020年度入試
工学部	前期	2.53	2.64	2.34
	後期	5.01	5.02	4.14
情報工学部	前期	2.51	3.01	2.18
	後期	5.94	6.82	5.16

一時的に下降

福岡県外からの入学者が56%



今秋のAO入試  
大阪会場に加え  
東京会場  
でも実施予定

過去5年間 (2015.3-2019.3)  
の出身県別入学者数





入学者は全国から  
関西・東海地方からの志願者も増加中!

## 共同研究講座・共同研究部門（研究推進 & 人材育成）

設置実績：10件（2020.4現在）

講座等名称	受入部局	設置期間
SUMCO共同研究講座	生命体工学研究科（若松）	2017.7～（3年間）
IoTシステム実装研究講座（パナソニック共同研究講座）	工学研究院（戸畑）	2017.11～（3年間）
ECCウェルネス共同研究講座	情報工学研究院（飯塚）	2018.4～（3年間）
デンソーLean Automation共同研究講座	工学研究院（戸畑）	2018.4～（3年間）
プラントライフサイクルエンジニアリング（PLE-TAKADA）講座	生命体工学研究科（若松）	2018.4～（3年間）
安川電機ロボット新技術開発講座	工学研究院（戸畑）	2018.8～（3年間）
デンソー生産準備IoT 共同研究講座	情報工学研究院（飯塚）	2018.10～（3年間）
機能性材料 共同研究部門	分子工学研究所（戸畑）	2019.4～（3年間）
新規材料分子設計 共同研究部門	分子工学研究所（戸畑）	2019.4～（3年間）
釜屋電機超高信頼性デバイス 共同研究部門	マイクロ化総合技術センター（飯塚）	2019.8～（3年間）

## ジョイント・リサーチ・プロジェクト -個人の繋がりを、組織の連携に-

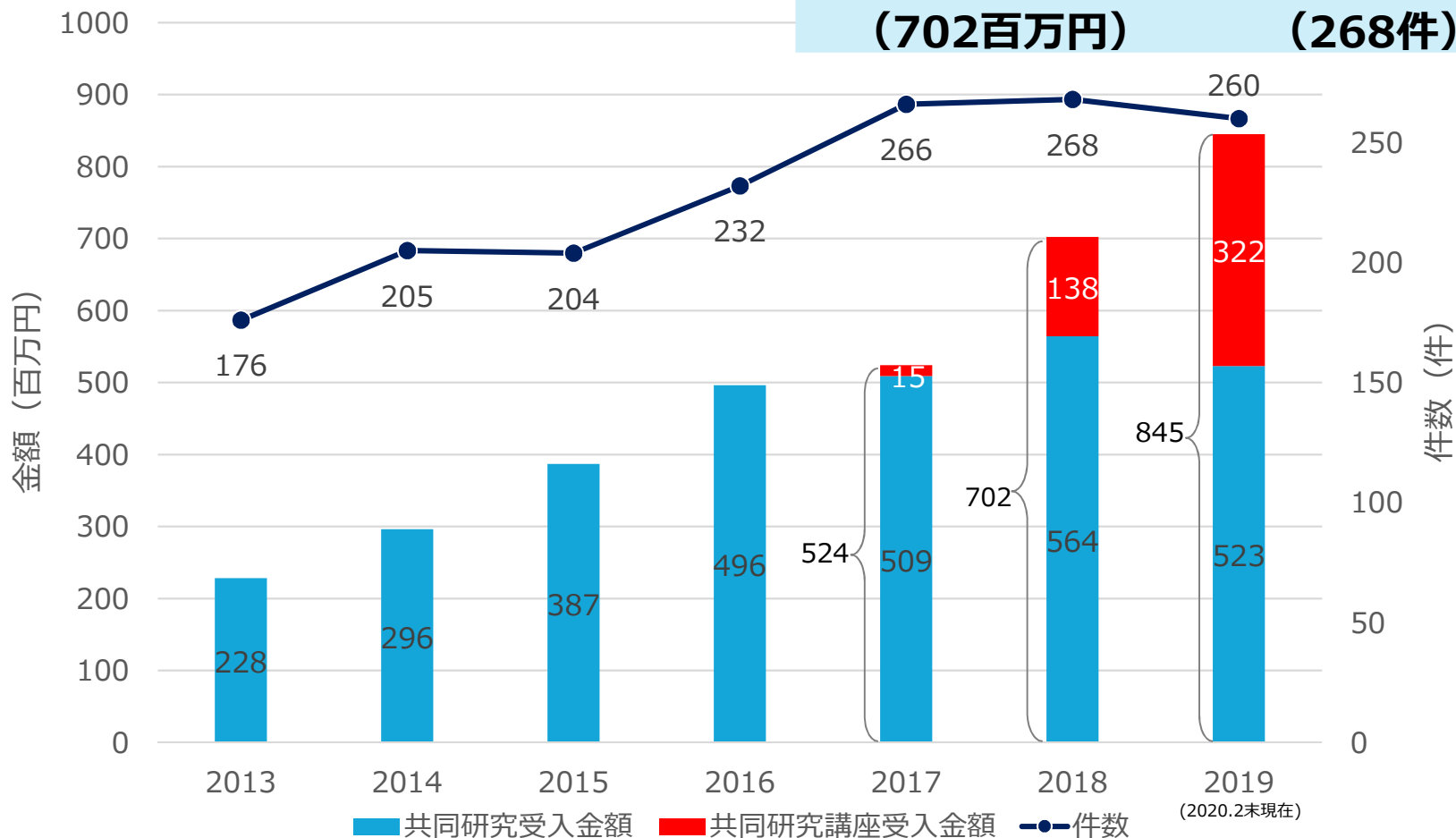
<p><b>ポトラ大学</b></p> <p>◇ 2017年3月14日、共同研究プロジェクト推進のための「趣意書」を締結 ◇ 2017年9月よりジョイントプログラムを開始（2019年度 3件新規）</p>		<p><b>ポトラ大学との共同研究支援：3件採択</b></p>
<p><b>台湾科技大学</b></p> <p>◇ 2017年4月12日、共同研究プロジェクト推進のための「合意書」を締結 ◇ 2017年8月よりジョイントプログラムを開始（2019年度 2件継続、3件新規）</p>		<p><b>台湾科技大学との共同研究支援：5件採択</b></p>
<p><b>情報通信研究機構（NICT）</b></p> <p>◇ 2018年12月1日、共同研究プロジェクト推進のための「包括的な連携協定書」を締結 ◇ 2019年4月、ジョイントプログラムテーマを審査</p>		<p><b>NICTとの共同研究支援：5件採択</b></p>
<p><b>ペトロナス工科大学（UTP）</b></p> <p>◇ 2019年9月30日、共同研究プロジェクト推進のための「合意書」を締結 ◇ 2019年11月よりジョイントプログラムを開始</p>		<p><b>UTPとの共同研究支援：2件採択</b></p>

2019年度  
New



## 共同研究契約実績の推移

● 2018年度実績 前年比  
**金額：1.3倍** **件数：1.0倍**  
**(702百万円)** **(268件)**



● 民間企業との共同研究に伴う研究者1人当たりの研究費受入額(2018)  
**第7位 (国立大学6位)** ※平成30年度大学等における産学連携等実施状況

## 未来思考キャンパス構想

学生へ

学ぶことによって、どのような未来を実現できるようになるのかを実感し、現在の自分が未来へどのような変化を与えることができるかに挑戦できるキャンパス（学習意欲の向上）

教員へ

独自技術を柔軟に活用し、社会にどのような影響を与えることができるのか実践できるキャンパス（技術による近未来社会のテーマへの付加価値創造）

### （第1弾）無人店舗実証事業

無人店舗の実証を通じて、社会的課題の解決に資する研究やアイデアの実現に挑戦する



「con-tech」ってナニ？

営業開始	名称
2019.6.4	con-tech
店舗運営	
九工大生協	利便性 (convenience) に着けたコンテナ (container)、それに顔認証やAIといった最先端の九工大 (kyutech) の技術 (technology) を付加していくことを目指し、「con-tech (コンテック)」と名付けました。 ※学内投票により決定

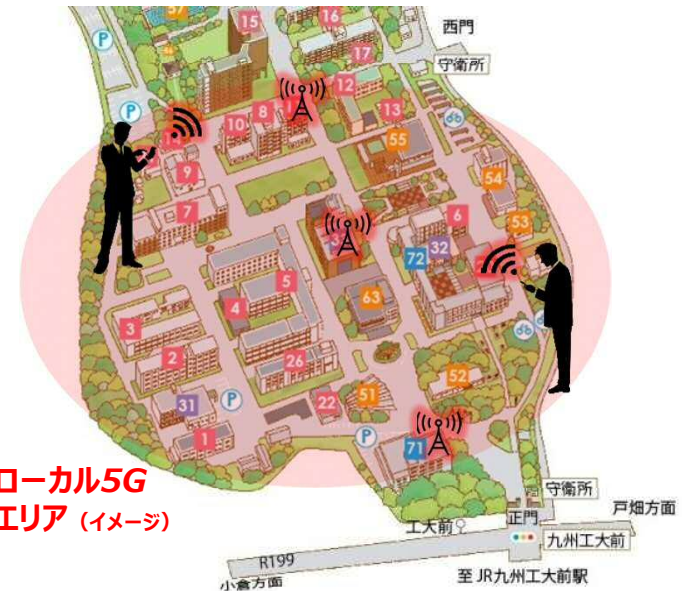
HOW TO USE?

店舗内への入店 & 退店

支払い	購入品決定	顔認証 or ICカード認証
生協の組合員証で決済 九工大生協のチャージ式プリペイドカードでのみ決済可能です。	画像認識による商品識別 購入する商品レジにのせると、AIがレジ上の商品を識別します。	顔認証のマスターデータには、学生証や職員証の写真を活用しており、許可いただいた方のデータ(約700名分)のみを登録しています。

### （第2弾）ローカル5G環境の構築

キャンパス内にローカル5G環境を構築し、学生・教員からのユースケースの募集や、九工大の研究開発への活用を目指す（現在検討中）







研究力重視の  
ランキング



## 世界大学ランキング 2020

**1001+ 位**

日本の大学で、**46位** / 110大学

【分野別ランキング 2020】

Engineering and Technology分野

**601-800 位**

日本の大学で、**15位** / 76大学

(THE WORLD UNIVERSITY RANKINGSホームページより、本学独自集計)



## 世界大学ランキング 2020

**801-1000位**

【分野別ランキング2020】

Mechanical, Aeronautical &  
Manufacturing分野

**451-500位**

スコア  
特徴

THE、QSともに、Citation (論文の被引用数・率)の指標はこれまで本学で一番弱い項目となっておりますが、近年、堅調にスコアは上昇しており、今回も高い伸びを示しています。

THE (Citations)			
2017	2018	2019	2020
14.3	18.2	23.1	<b>31.0</b>

QS (Citations per Faculty)		
2018	2019	2020
-	25.3	<b>29.2</b>



## アジア大学ランキング 2020

**207 位**

教育力重視の  
ランキング



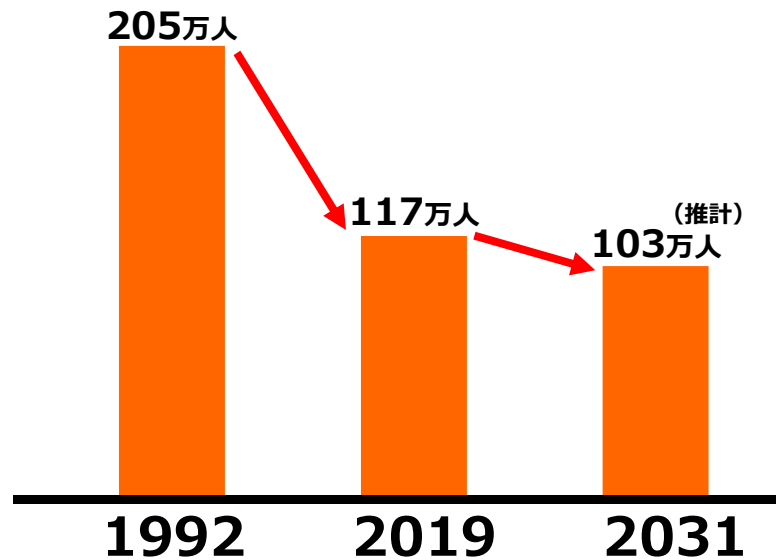
## 世界大学ランキング日本版 2020

**総合 38 位** / 278大学

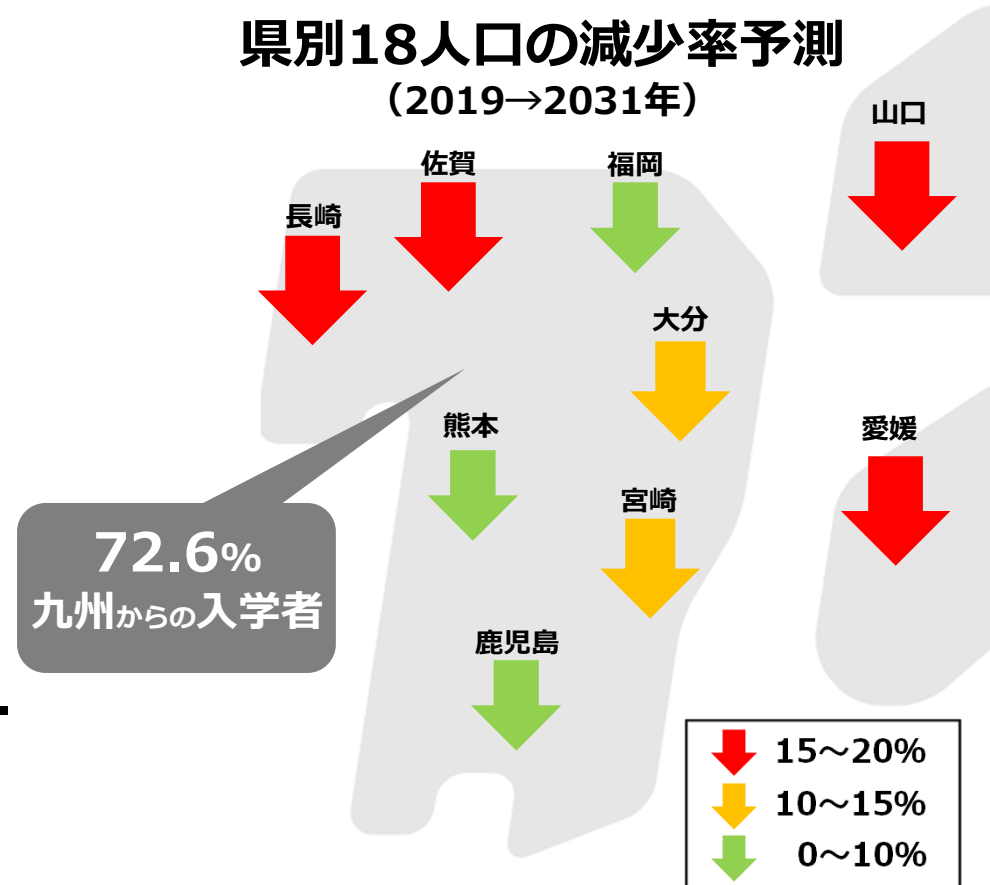
九州地区の国立大学で**3位**

## ◆外部環境の変化①

-大幅な18歳人口の減



### 県別18人口の減少率予測 (2019→2031年)



- ・ 良質な教育の提供とその成果の積極的な情報発信
- ・ 本学で学びたい人に最大の機会を(学部を超えた第2,3志望を可能に)
- ・ AO入試を大阪に続き、今秋から東京でも実施
- ・ 本学の機能充実：高度な人材育成の拡充（大学院定員増）の検討



## ◆外部環境の変化②

### -不透明な未来『VUCA』 〈OECD Education2030〉

※ VUCA : 不安定(Volatility)、不確実(Uncertainty)、複雑(Complexity)、曖昧(Ambiguity)

社会を変革し、未来を創造する「変革力」のある  
コンピテンシーを備える人材

新たな価値を  
創造する力

対立やジレンマ  
を克服する力

責任ある行動  
をとる力

**本学職員にも必要な能力**



VUCA対応プログラム

生涯学習の必要性 (リカレント教育プログラムの整備・実施)

大学院教育プログラムの高度化など

## ◆本学の状況

### -財務状況

- ・運営費交付金及び授業料収入の減少（法人化以降、10億円減少）
  - ・人件費の上昇
  - ・評価次第で運営費交付金が毎年度変動
- ➡
- ・様々な評価指標(進学・就職状況、博士号授与、研究業績、科研、外部資金受け入れ実績等)を見据えた自律的対応(学修者視点、機能の確認)
  - ・教育研究力の強化、成果の更新・公開、外部収入の増大など

### -科研費の採択状況、論文生産性などの研究指標

- ・同規模の大学と比較しても高くない
  - ・活発な教員に偏りがある
- ➡
- ・適切な現状認識、研究チーム編成と連携による研究遂行力強化

### -コンプライアンス（ハラスメント案件）

- ・毎年のように発生
- ➡
- ・安心と誇りをもって働けるキャンパスの実現
  - ・ハラスメントのない組織作りに関する「学長宣言」の策定
  - ・外部専門家との連携強化、各種研修の実施



## ◇機能の充実

### -教育の高度化・学生支援の充実

- ・教育の質保証に向けた体制、制度作りとその実施
- ・情報化、VUCAに対応すべく教育プログラムを改善
- ・大学院教育の高度化と拡充、リカレント教育プログラムの整備
- ・総合的な学生支援機能の充実

### -国際化の深化

- ・海外派遣の高度化（「量」から「質」へ）
- ・海外拠点の一層の活用
- ・国際拠点・連携ネットワーク形成とその活用

### -産学連携の深化

- ・教育・研究連携、本学資源の外部提供など様々なチャンネルで産業界と接続  
⇒オープンイノベーション推進機構  
⇒旧体育館のオープンラボコンプレックス構想の実現へ

### -大学連携強化

- ・信頼関係の醸成に基づく強みの強化、弱みの補強による意義のある連携  
九州等の大学の工学部との連携により本学の価値の強化を

## ◇財務改善

### -多様な外部資金の獲得（産学連携以外の取組も強化）

- ・ふるさと納税（飯塚市：2019.10～、北九州市：2020.4～）
- ・リカレント教育の充実による社会人の取り込み
- ・本学の機能に基づくさまざまな自己収入の模索

飯塚市 Iizuka City

人が輝き まちが飛躍する  
住みたいまち 住みつけたいまち

お問い合わせ 組織案内 サイトマップ

文字サイズ色合い変更 携帯サイト Foreign Language

検索

ホーム 防災・防犯 暮らし 健康・福祉 子育て 教育・文化 スポーツ まち・環境 産業・働く 市政情報

ホーム > 市政情報 > ふるさと納税 > ふるさと納税（個人） > ふるさと"いづか"応援メニュー

更新日：2019年10月1日

### ふるさと"いづか"応援メニュー

#### (7)大学応援寄附金

##### 産学官連携事業の推進等を応援

「飯塚市内の大学を応援したい！」という方は、こちらのメニューをお選びください。  
市内にある大学の産学官連携事業等のために活用させていただきます。

[Excel ▶ 飯塚市ふるさと納税（大学応援） 高附申込書（エクセル：53KB）](#)  
[PDF ▶ 飯塚市ふるさと納税（大学応援） 高附申込書（PDF：85KB）](#)

九州工業大学のホームページ（外部サイトへリンク）

※ポータルサイトからの申込みはできません。

※大学応援寄附金のメニューでは、飯塚市からの返礼品はありません。

北九州市 CITY OF KITAKYUSHU

093-582-4894 北九州市コールセンター

アクセス・連絡先 サイト内検索

トップ < 暮らしの情報 観光・おでかけ ビジネス・産業・まちづくり 市政情報 市の広報

現在位置：トップページ > < 暮らしの情報 > 税・保険・年金 > 税 > ふるさと納税を活用した市内大学支援のご案内

### ふるさと納税を活用した市内大学支援のご案内

更新日：2020年4月1日

北九州市では、皆様からの寄附を募集しています。  
北九州市出身の皆様、ゆかりのある皆様、北九州市を応援してくださる皆様の想いを、北九州市の更なる発展に向けて活用させていただきます。

#### お知らせ

##### 大学支援の取り組みを始めました！

この度北九州市では、令和2年度より、市内大学の地域貢献に寄与する取組などへの支援メニューを用意し、寄附者から新しい形で、ふるさと納税の制度を活用して応援を募ることとしましたので、お知らせします。

（注）北九州市からの返礼品は、市民、市外の居住を問わず、ありません。

#### 寄附金の使い道について

市内大学が、北九州市内の企業の競争力強化と人材確保に貢献する取組を推進していくために活用させていただきます。

支援したい大学をお選び下さい。（今年の参加大学は、下記の4大学です。）

1. 北九州市立大学
2. 九州工業大学
3. 九州国際大学
4. 西日本工業大学

税・保険・年金

- 税
- 国民健康保険
- 後期高齢者医療制度
- 国民年金

組織から探す

- 区役所
- 施設
- 市民のごこ（ご提案・ご相談）

北九州市コールセンター  
093-582-4894  
年中無休 8時30分～20時



## 今後2年間の重点的取り組み事項

- ◆ 現状・自己認識に努める
- ◆ 本学の学術的、社会的価値の向上
- ◆ 社会の共感を得る活動
- ◆ 第3期の成果の取りまとめ
- ◆ 第4期、それ以後のビジョン作り

九工大は、これまでも社会で重要な役割を担い、それを果たしてきました。

今後も、学内外において情報共有、意見交換などの機会を増やし、みなさんと共に、知を繋げ、知で繋ぎ続けるキャンパスの構築を実現したいと思います。